

スマイルぷらす松戸、スマイルぷらす MEBUKI

●松戸市重症児者通所支援連絡会

「松戸市重症児通所支援連絡会」から「松戸市重症児者通所支援連絡会」に名称変更
児から者への移行の課題については追って取り纏め報告させていただきます。

会員内利用状況(回答:9 事業所/11 事業所)

	重心	医ケアⅠ	医ケアⅡ	医ケアⅢ
児童発達支援	3 名(20%)	0 名(0%)	5 名(33%)	7 名(47%)
放課後等デイサービス	38 名(34%)	13 名(12%)	26 名(23%)	35 名(31%)

会員内利用状況(回答:2 事業所/2 事業所)

	延べ人数	重心者	医療的ケア者
生活介護	50 名	32 名	14 名

●医療的ケア児・者の移動、送迎に関するアンケートまとめ

① 移動・送迎において工夫していること

- ・発作が頻繁、呼吸器系の疾患のある医ケア児・者が長距離長時間乗車しない様に送迎の順番を考える
- ・看護師の配置的に必ず添乗できる訳ではないので、喀痰吸引等実地研修を修了した職員が添乗できるようにする
- ・ルート上 1 回の送迎で添乗付きでの送迎が難しい場合は早帰りをお願いして 2 便できるようにする
- ・走行中に痰の吸引など必要になる事が多いのでその都度停まったり、コンビニ等の駐車場をお借りする
- ・単にルートだけの配車ではなく、医ケア者のみでまとめたり、発作など起こっても確認できる様配置も考える
- ・発作や急な体調変化に気付けるように横に看護職等人員を配置する
- ・座位の場合ポジショニングの固定ができるよう、ジュニアシートやクッション等を利用
- ・できる範囲ですが、こもりやすい、冷えやすい児童が同じ送迎車にならないようにする
- ・カーシートやチャイルドシートを使用する場合、できるだけ安楽な姿勢でいられるよう、リクライニングや三角形の台などで調整している
- ・利用者になるべく負担がないよう、送迎ルートなどを考え短時間の乗車時間になるようにする
- ・看護師を添乗させて、医療ケアの対応に備える
- ・送迎中の緊急時マニュアルを作成している

②移動・送迎において課題に感じること

- ・職員数(看護師も含め)が少ないので、添乗を付ける為に医ケア以外の方が運転手 1 人での送迎になってしまい危険を感じることもある
- ・送迎車・人数に限りがあり医ケアの方を先に降ろすなど無理矢理にルートを組みなくてはならず長く車に乗っている利用者が出てきてしまい排泄など間に合わないことがある
- ・重心の方々は医ケアグッズやその他荷物が多く、車椅子も大きい為 4 台乗りの車両でも 3 台乗る事が限界なことがあり、その状況の中で吸引等の対応は難しい
- ・3 台でも吸引の為車内移動する事が困難で時には運転席の職員が吸引をすることもある
- ・人数や車両数などの原因により利用者の希望通りの時間に送迎する事が難しく、ヘルパーを待たせてしまうなどの事がある
- ・住まいや環境、時間の制約があり、受け入れたくても送迎が出来ないこともある
- ・見守りに必要な人員が不足しがち
- ・リフト車のフックが、基本的に車いす用に設計されているので、引っかけるのが難しいタイプのバギーがあり困ることがある
- ・今現在は充足しているが、一時期ドライバー不足で困っていた
- ・ハイエースなど大きい福祉車両に乗るので大きい車を運転できる運転手がいらない
- ・発作時の座薬の挿肛やカニューレ抜去など、緊急時の対応が車内のスペースで適切に行えるか、今までそういう場面がないので不安がある
- ・学校から、吸引器のバッテリーがない状態、排液が満水で帰ってきていて困ったことがある
- ・吸引等ケアの必要性が高いと看護師の添乗を必要とし、人員の確保や車両の確保を運営の中で考えなければならない。
- ・長時間乗車や複数名同乗での送迎対応にリスクを感じている
- ・医療的ケア児を対象とする移動支援事業所が少ない
- ・カーシートやチャイルドシートが足りないし、特に大きいお子さんのカーシートは入手困難

② その他、支援において課題に感じること

- ・生活介護施設では医ケア者が増えており、現場での対応が難しくなっている
- ・災害時の準備を行っているが、医ケア児・者の対応を施設としてどのように準備しておくとか、市の対応も含めて共有できるとありがたい
- ・スタッフは利用者の人数に合わせて揃えているので、利用児の体調不良でのキャンセルが多く対応に悩む
- ・配置人数等の関係から安全に受け入れられる人数が限られているため、依頼を頂いても受け入れが出来ないこともある。医療的ケア・重度心身障害者を受け入れられる施設も少ないと感じる
- ・日中の支援だけではなく、ショートステイの利用先も少ないようで困っている利用者家族も多い
- ・喀痰吸引等研修を実施しているが、研修を始めてから実施できるようになるまでの手続きが複雑で時間がかかってしまい支援したくてもなかなか支援が出来ない
- ・看護職含め人員が不足しがち
- ・仕方のないことですが、キャンセルが多く予定が組みづらい